「やさしい日本語」役立つツール等の紹介

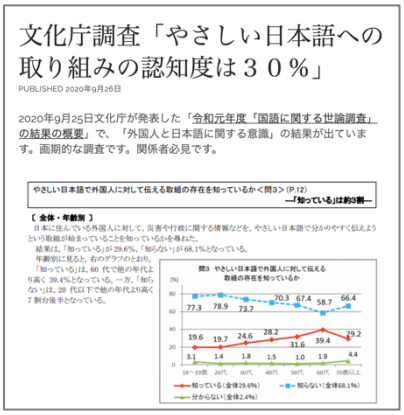
基本情報

名称	やさしい日本語ツーリズム研究会 HP	**提供元**	やさしい日本語ツーリズム研究会
URL	https://yasashii-nihongo-tourism.jp/		
概要	「やさしい日本語ツーリズム研究会」は、多文化共生社会実現を目指し、多言語対応のためのやさしい日本語普及を目指すプロジェクトです。動画制作ややさしい日本語普及に向けた企画等を行っており、活動内容の紹介、やさしい日本語関連情報の発信を HP 上で行っています。		

活用イメージ

＜動画制作＞

＜関連ニュース＞



文化庁調査「やさしい日本語への取り組みの認知度は３０％」

PUBLISHED 2020年9月26日

2020年9月25日文化庁が発表した「令和元年度「国語に関する世論調査」の結果の概要」で、「外国人と日本語に関する意識」の結果が出ています。画期的な調査です。関係者必見です。

やさしい日本語で外国人に対して伝える取組の存在を知っているか＜問3＞（P.12）
―「知っている」は約3割―

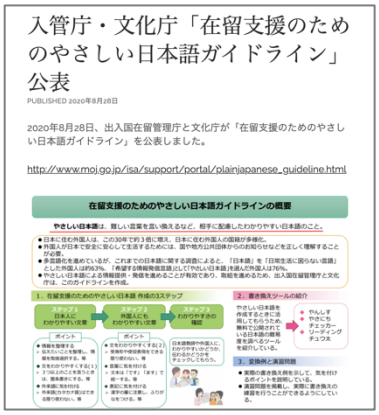
【 全体・年齢別 】

日本に住んでいる外国人に対して、災害や行政に関する情報などを、やさしい日本語で分かりやすく伝えようという取組が始まっていることを知っているかを尋ねた。

結果は、「知っている」が29.6%、「知らない」が68.1%となっている。

年齢別に見ると、右のグラフのとおり、

「知っている」は、60 代で他の年代より高く 39.4%となっている。一方、「知らない」は、20 代以下で他の年代より高く 7 割台後半となっている。



入管庁・文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」公表

PUBLISHED 2020年8月28日

2020年8月28日、出入国在留管理庁と文化庁が「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を公表しました。

http://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html

在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインの概要

やさしい日本語とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のこと。

- 日本に住む外国人は、この30年で約３倍に増え、日本に住む外国人の国籍が多様化。
- 外国人が日本で安全に安心して生活するためには、国や地方公共団体からのお知らせなどを正しく理解することが必要。
- 多言語化を進めているが、これまでの日本語に関する調査によると、「日本語」を「日常生活に困らない言語」とした外国人は約30%。「希望する情報発信言語」として「やさしい日本語」を選んだ外国人は70%。
- やさしい日本語による情報提供・発信を進めることが有効であり、取組を進めるため、出入国在留管理庁と文化庁は、このガイドラインを作成。

1．在留支援のためのやさしい日本語 作成のステップ

ステップ1 日本人にわかりやすい文章 → ステップ2 外国人にもわかりやすい文章 → ステップ3 わかりやすさの確認

ポイント
- 情報を整理する
- 伝えたいことを整理し、強調事項を明確にする。等
- 文をわかりやすくする
- 1つ目よりさらに多くの人に、簡単表現にする。等
- 外来語に言い換える
- 外来語のカタカナ表記はできる限り使わない。等

ポイント
- 文をわかりやすくする
- 文末は「です」「ます」で統一する。等
- 敬体に言い換える
- 漢字が連続しないよう、ふりがなをつける。等

日本語教師や外国人に、わかりやすいかどうかなどをチェックしてもらう。

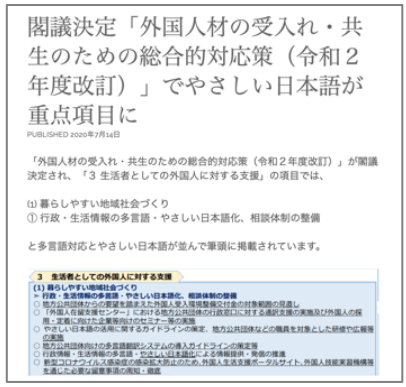
2．書き換えツールの紹介

やさしい日本語を作成するときに活用してもらうため、無料でご提供されている日本語の難易度を調べるツールを紹介している。

- やさしいやさにち
- チェックツール
- リーディングチュウオ

3．変換例と実践問題

- 実際の書き換え例を示して、気を付けるポイントを説明している。
- 実践問題を掲載し、実際に書き換えの練習を行うことができるようにしている。



閣議決定「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（令和２年度改訂）」でやさしい日本語が重点項目に

PUBLISHED 2020年7月14日

「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（令和２年度改訂）」が閣議決定され、「３ 生活者としての外国人に対する支援」の項目では、

(1) 暮らしやすい地域社会づくり
① 行政・生活情報の多言語・やさしい日本語化、相談体制の整備

と多言語対応とやさしい日本語が並んで筆頭に掲載されています。

3 生活者としての外国人に対する支援

(1) 暮らしやすい地域社会づくり

► 行政・生活情報の多言語・やさしい日本語化、相談体制の整備

- 地方公共団体からの要望を踏まえた外国人受入環境整備交付金の対象範囲の見直し
- 「外国人在留支援センター」における地方公共団体の行政窓口に対する通訳支援の実施及び外国人の採用・定着に向けた企業等向けのセミナー等の実施
- やさしい日本語の活用に関するガイドラインの策定、地方公共団体などの職員を対象とした研修や広報等の実施
- 地方公共団体向けの多言語翻訳システムの導入ガイドラインの策定等
- 行政情報・生活情報の多言語・やさしい日本語化による情報提供・発信の推進
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、外国人生活支援ポータルサイト、外国人技能実習機構等を通じた必要な留意事項の周知・徹底

「やさしい日本語」が外国人被災者の命を救いますパンフPDF

PUBLISHED 2020年3月8日

2016年に制作された弘前大学佐藤和之研究室の「「やさしい日本語」が外国人被災者の命を救います」のパンフですが、2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会でのページからPDFがダウンロードが可能になっています。

https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/multilingual/council/pdf/meeting_05/reference23.pdf

続きを読む　COMMENTS CLOSED

＜やさ日ライブ＞

研究会では、やさしい日本語や周辺領域に詳しい方々を招いての１時間トーク番組「やさ日ライブ」を定期的に配信しています。　https://yasashii-nihongo-tourism.jp/live

（令和３年２月）